



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1836号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢岸 克行 幹事 森崎 祐治



広重版画より 三島 朝霧

第1898回例会

2011.8.25曇

司 会

瀬川幸信君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 矢岸克行君

皆様こんにちは。三島の夏祭りも終わり、天候もこれから段々秋めいてまいると思われます。

さて、今月は会員増強月間であり、会員の皆様ひとりひとりのご協力よろしくお願ひします。

今日の話は、今三島市民が一番不安に思い、又、充実を望んでいる事ですが、それは産科の拡充であります。今、三島には個人の産科が2ヶ所しかなく若い夫婦が子供を望んでいる中で一番の障害になっているようです。社会保険病院の産科の開設の為25床の増床を計画しているのですが、なかなか国は認めてくれません。一日も早い開設を望みたいです。

それからもう一つは、発達障害の皆様の為の支援センターの設置です。知的障害と違い最近全国的にも問題となっている事実です。通常は健常児とほとんど変わらないか、ある一点、たとえばうまくコミュニケーションが取れないとか、勉強でいえば、算数になると全くだめだとか、漢字がうまく書けないとか、それによって我を忘れるような行動をとるなどです。そういった方がなんとか社会に順応できるように支援するセンターの設置のため今さまざまな問題に取り組んでいます。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	44/49	89.80%	46/49	93.88%
今回	44/50	88.00%	会員総数	51名

欠席者 石井(彰)君、遠藤(正)君、小林君、野口君、原君、古川君

幹事報告

幹事 森崎祐治君

①先週の家族親睦例会は、天候、風の状態も良くきれいな迫力ある花火を楽しむことができたことと思います。ご参加の皆さん、親睦委員会の皆さんありがとうございました。

②20日に第2分区会長幹事会が開かれまして矢岸会長と出席してまいりました。来月は1日第1例会に水口ガバナ補佐が訪問されます。また第3例会16日(金)のせせらぎロータリークラブとの合同例会には、積ガバナが公式訪問されます。第3例会は合同例会となり会場はみしまプラザホテルですが、金曜日となりますのでお間違えないようにお願いします。

③本日は、この後会員増強月間にあたり勝間田委員長よりお話が予定されております。例会終了後は40周年記念実行委員会、合同委員会が開催されます。またあさって27日(土)は献血奉仕活動が社会奉仕委員会により計画されておりますよろしくお願ひします。

2011~2012年度
国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

スマイルボックス

- ◆室伏君、無料試写会のお知らせです。今月の月末31日(水)夜6:30よりみしまプラザホテルで「お菓子放浪記」の無料試写会があります。田熊幸代さんの親友西村滋さんの小説の映画化です。西ロータリークラブの皆様&奥様は受付フリーパスです。詳細はパンフレットをご覧ください。
- ◆橋本君、昨日、三島市の仕分け事業選定の座長を無事終了しました。10月には事業仕分けが行われます。自分の納めた税金の用途を見守って行きたいと思えます。
- ◆A Bテーブル、三島夏祭りの最中にA Bテーブル会を開催しました。大いに飲み食べて楽しい時間を過ごしました。お世話いただいた矢岸さん、奥様、ありがとうございました。
- ◆千葉君、ごめんなさい。来客の為、早退します。
- ◆諏訪部(敏)君、早退します。

卓 話

会員増強月間にあたり

会員増強維持委員会
委員長 勝間田信輔君

現状

日本のロータリーでは1996-97年の13万人の会員数をピークに現在では90,348人(2011.5末)まで減少の一途、2620地区に於いては年間で約100名近く減少している。この数字は会員増強した後の数である。

原因

- 景気の低迷(経済的理由)
- 地域においては過疎化が進む
- 事業主の高齢化や健康的理由
- 少子高齢化
- 若者の価値観の変化
- 経済成長期にクラブ拡大をし過ぎた
- 人口あたりの適正クラブ数もある
- RC情報教育を疎かにしたことで会員のRCへの理解不足

課題と対策

- 何もしなければ平均年齢は確実にあがるので女性や

若い人が必要

- クラブの活性化には老・壮・青のバランスを保ち若返りが必要
- 国の財政と同じでクラブの会員の減少は収入減となり緊縮財政に陥り、理想とする奉仕活動への予算が足りなくなる。
(会費収入からみたクラブ運営関係費の比率が高くなり4大奉仕活動関係費の比率は低くなる。即ち、4大奉仕活動で使える予算は減少する。1名純増とすると年会費の約25%の55,000円位が4大奉仕の予算に廻る計算)
- ロータリー精神を知る真のロータリアンをより多く育てる
- 例会を重視した温かく活動あるクラブ創り
- 地域に根ざした活動で感動を与える事でよりロータリーの事を多くの人に理解してもらう。(親睦は目的ではなく、これらを円滑にする手段として重要である)
- 活き活きさせるためには常に新しい人材の導入が必要
- 入会3年未満の退会者が多いため、防止するには紹介者やRC情報委員会による情報の充実、徹底、提供の機能強化といったフォローが必要
(ロータリアンの義務と特典)
- 新しい人には活動や役割の機会をつくり、行事に積極的に参加してもらう工夫が必要
- 「理念のない組織は衰退する」
ロータリーの不易流行とは「超我の奉仕」「奉仕の理想」「職業奉仕の精神」といった哲学的なものであるが、これをどの様に説いていくか、実践していくのが課題

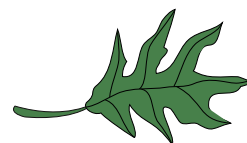
会員はロータリアンであると同時に職業人である事を踏まえ奉仕するとは

「買う人の身や立場になって物を売る」

「使う人の事を思って物を作る」

「相手の身になってサービスする」

企業の社会的責任を全うしつつお客様と会社と働く方の三方良しを念頭に置く事が重要であり、結果として「もっとも奉仕したものがもっとも報われる」に至る。



(週報担当：田熊幸代)